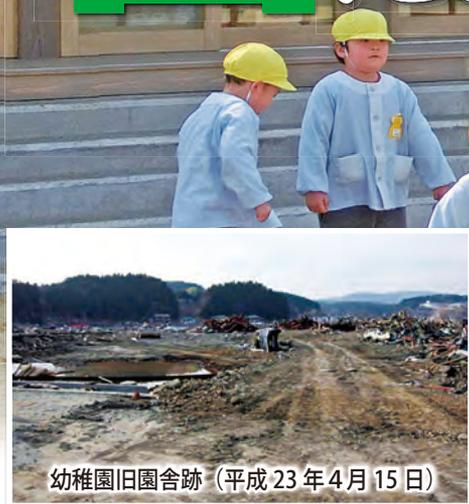


宮私幼 だより vol.145



幼稚園旧園舎跡（平成23年4月15日）



あさひ幼稚園

巻頭言

弥生3月、この時期は、別れと出会いの季節でもあります。卒園式が終わり、年長児は指導要録とともに、小学校へ送り出しました。次は、新入園児を迎える準備に入ります。認定こども園はさらに忙しい日々を送っていることと思います。未満児を預かる先生方のご労苦に敬意を表します。この1年間、事故なく過ごせるよう、関係者の皆様、一致協力して、安心安全に取り組みましょう。

今年9月には、東北地区教員研修大会が塩釜地区（塩釜市・多賀城市・利府町・七ヶ浜町）の幼稚園を会場に行われます。1日目は公開保育、2日目は多賀城文化センターでの講演会を予定しております。各園におかれましては、業務に支障をきたさない程度に先生方の参加をお願い申し上げます。

平成30年4月から新幼稚園教育要領並びに認定こども園教育保育要領が施行されます。従いまして、平成29年度は周知期間という位置づけになります。夏休み等を利用して、様々な伝達講習を行いますので先生方の派遣をお願いするところがございます。

教員、保育士不足が県内全体に及んでおります。資格を持っていながら他の職種に勤務している方、結婚して県内に引っ越してこられた方等々に声掛けをしていただき、職場復帰をしていただきたいとの思いから、ホームページでも求人募集を始めました。平成29年度には公的補助金による処遇改善も予定されております。4時間パート、6時間パートを活用して、働き方改革を行う時代になったのかなと感じております。



宮私幼理事長 村山 十五

Close・up 理事会

平成28年度宮私幼理事会の概要(9月～3月)

【平成28年度第4回理事会】

- 日 時 平成28年 9月23日(金)午後1時～
 場 所 宮私幼会議室
 議 事
 (1) 幼保連携型認定こども園ゆりかご幼稚園・ゆりかご保育園から提出された退職手当資金給付事業からの「脱退届」について
 (2) その他
 そ の 他
 (1) 第69回全国造形教育研究大会(宮城大会)について
 (2) 今後の予定について

【平成28年度第5回理事会】

- 日 時 平成29年 2月22日(水)午後2時～
 場 所 宮私幼会議室
 議 事
 (1) 第2回定時総会について
 ①平成28年度補正予算(案)について
 ②平成28年度事業計画(案)について
 ③平成29年度予算(案)について
 ④平成29年度第32回東北地区教員研修大会<宮城大会>会員協力金について
 ⑤平成29年度第32回東北地区教員研修大会<宮城大会>会計収支予算(案)について
 ⑥その他

事務局だより

○関係機関団体

- 9/13 子ども・子育て会議(宮城県行政庁舎)
 9/15 仙私幼教育振興大会(仙台市民会館)
 9/23 第10回学ぶ土台づくり推進連絡会議(宮城県行政庁舎)
 10/18 第41回宮私幼PTA親善バレーボール大会(グランディ21)
 11/10～11 全国造形教育研究大会宮城大会(エコールノワール幼稚園他)
 11/18 第5回宮城県教育振興審議会(宮城県行政庁舎)
 12/19 私学審議会(宮城県自治会館)
 1/6 第30回仙私幼教員研修大会(仙台市民会館)
 1/13 第6回宮城県教育振興審議会(宮城県行政庁舎)
 3/10 宮城県幼保連携型認定こども園審議会(宮城県行政庁舎)
 3/22 宮城県幼保連携型認定こども園審議会(宮城県行政庁舎)

○全日私幼連

- 9/26 平成28年度・102条園研究会議(東京)
 9/30 平成28年度 認定こども園「教育・保育 質の向上」全国研修会(東京)
 10/7 第9回都道府県政策担当者会議(東京)
 10/17～18 第32回設置者・園長全国研修大会(石川)
 11/7 政令指定都市特別委員会研修会(東京)
 11/11 平成28年度東北地区会経営研究・政策総務担当者連絡協議会(宮城)
 11/25～27 平成28年度園長・リーダー研修会(東京)
 12/13 団体会長・理事会合同会議(東京)
 1/19～20 平成28年度全国研究研修担当者会議(京都)
 1/31 団体会長・理事会合同会議(東京)
 2/13 平成28年度・102条園研修会(東京)
 2/15 公開保育コーディネーター養成講座(東京)
 2/20 第6回後継者育成研修会(東京)
 2/24 第2回東北地区会・団体会長会議及び事務局長会議(宮城)
 3/14 団体会長・理事会合同会議(東京)
 3/27 免許状更新講習(第4回選抜)(仙台市民会館)

○宮私幼のあゆみ

- 9/5 広報委員会
 9/14 総務・給付委員会
 9/20 研究委員会
 9/23 理事会

- 9/23 第32回東北地区教員研修大会(宮城大会)実行委員会
 10/3 総務・給付委員会
 10/6 石巻地区教育振興大会・PTA研修大会
 10/20 研究委員会、教育研究発表大会発表園打合せ
 10/25 東北地区教員研修大会公開保育担当者会議(多賀城市文化センター)
 10/26～30 造形教育作品展(宮城県美術館)
 11/2 総務・給付委員会 / 広報委員会
 11/16 研究委員会
 12/8 総務・給付委員会 / 広報委員会
 " 第32回東北地区教員研修大会(宮城大会)実行委員会
 12/15 研究委員会、地区研修担当者連絡会
 12/21 東北地区教員研修大会公開保育担当者会議(多賀城市文化センター)
 1/10 研究委員会
 1/11 知事陳情・宮城県議会議長陳情
 " 東北地区教員研修大会(宮城大会)打合せ
 1/17 東北地区教員研修大会(宮城大会)打合せ
 1/18 総務・給付委員会
 1/24 東北地区教員研修大会(宮城大会)打合せ
 1/25 総務・給付委員会
 2/21 総務・給付委員会 / 常任理事会・総務・給付委員会合同会議
 2/22 理事会
 2/28 研究委員会、教育研究発表大会事前打合せ
 3/9 設置者・園長研修会、第2回定時総会(仙台市民会館)
 " 研究委員会
 3/15 総務・給付委員会
 3/22 研究委員会
 3/27 宮私幼教育研究発表大会 (仙台市民会館)

○慶 弔

- 9/30 八島 虎次郎 氏(あらまき幼稚園 元園長)ご逝去
 10/22 愛耕幼稚園創立100周年記念式典
 11/8 宮城県知事表彰(教育文化功労)受賞 風間 文静先生(ひかり幼稚園)
 11/24 荒川 レイ子 氏(中田幼稚園 前園長) 逝去
 12/6 菅野 忠昭 氏(めるへの森幼稚園 理事長)ご逝去
 1/13 畠山 ひで子 氏(九条幼稚園 園長)ご逝去
 2/8 岩岡 智光 氏(中新田幼稚園・なかよしこども園 前理事長)ご逝去
 2/13 鎌田 よし子 氏(八幡花園幼稚園 創設者)ご逝去
 3/18 荒川 周智 氏(中田幼稚園 代表役員)ご逝去
 3/30 蒲町こども園竣工式並びに七郷学園創立60周年記念祝賀会

平成28年度 設置者・園長研修会 / 第2回定時総会

日 時：平成29年 3月9日(木) 会 場：仙台市民会館

設置者・園長研修会

はじめに指吸会計センター株式会社 仙台支店長 田尻文彦様より「認定こども園の現状と課題」と題してご講演をいただきました。



「まずは現状を把握することから。平成28年度学校基本調査より、幼稚園数は11,252園で前年より422園減少。園児数は1,339,761人で前年より62,687人減少。幼保連携型認定こども園数は、2,822園で前年より879園増加。園児数は397,587人で前年より116,451人増加しています。小学校第1学年に対する修了者の比率、幼稚園は全国平均48.5%、宮城県60.6%、幼保連携型認定こども園は全国平均6.9%、宮城県3.9%。人口の減少予測では宮城県全体で15年後には25%のこどもの減少が予測され、経営計画の大幅な見直しが必要です。最近よく見られる現象として市町村が待機児童の解消を目標に掲げ、保育所・小規模保育施設・認定こども園などの新設と定員増を図っています。今後、小規模保育施設の3歳から5歳に受け入れ拡充が予想される事や平成27年度に保育所に入所したこどもが3歳を迎えていることなど自園の周りの動向にも注意が必要です。また、企業主導型保育事業が全国で424件の計画、宮城県では16件、大きなところではニチイや資生堂で計画されています。これには、市町村の設置基準が緩く、保育士も半分でよく、定員の半分まで近所のこどもを受け入れることができる、認可並みの補助が受けられる等々、近隣の園にとっては影響が大きいのではないかと。また私学助成と認定こども園を比較した場合、私学助成園の運営費補助金は傾斜配分ではあるが、園児数が多い方が良い。認定こども園は利用定員と職員数のバランスを上手く保たないといけません。問題なのは、職員不足です。認定こども園では必要職員数が多いので、加算等をもらおうとすると人数が要ります。また、設備投資も考えてやらないと将来的な資金繰りにも影響します。最後に、認定こども園では、「人」がポイントとなる。と話されました。続いて宮城県総務部私学文書課私立学校班 主幹 木川田真理子様より平成28年度私立学校運営状況現地調査結果について、資産登記に関わる寄附行為の変更について、人材確保支援について等々お話がありました。詳細につきましては、宮私幼発行の『平成28年度ようちえん白書』に載せる予定ですのでご覧下さい。



第2回 定時総会

午後1時30分より宮私幼総会が開催されました。総会に先立ち、今年度お亡くなりになった先生方に黙祷を捧げました。



はじめに村山理事長より挨拶があり、職員の処遇改善に補助も見込まれるので6～7月頃ボーナスなどの支給に合わせて考えてほしい。

また、平成29年9月1・2日には第32回東北地区教員研修大会〈宮城大会〉が塩釜地区において開催されます。つきましては全県をあげて応援をしたいので、その日程は休園していただいて、多数の先生方の参加協力を要請したい旨のお願いがありました。

続いて、ご来賓から宮城県議会議員で宮城県私立幼稚園PTA連合会会長渥美巖氏が祝辞を述べられ、来年度も補助の増額を見込める事や日頃からの保育運営に謝意を述べられました。



その後、総会議長として宮城野地区よりみやぎ幼稚園の渡邊孝先生、仙南地区よりたんぼ幼稚園伊藤誠先生を選任し、議事録署名人に若林地区よりろりぼっぷ幼稚園加茂光孝先生、名取地区よりふたば幼稚園岩淵義明氏を選任し、議事に入りました。

第1号議案として平成28年度一般会計収支補正予算(案)及び退職手当資金給付事業特別会計収支補正予算(案)について審議され異議なく承認されました。第2号議案平成29年度事業計画(案)について、第3号議案平成29年度一般会計収支予算(案)及び退職手当資金給付事業特別会計収支予算(案)についても審議され、いずれも異議なく承認されました。報告事項として、第32回東北地区教員研修大会〈宮城大会〉会計収支予算について報告があり、



その他として平成29年度園児募集の日程等について、例年通り10月1日募集、11月1日願書受付となることが示されました。以上をもって総会を終了しました。

(清野英俊)

平成28年度 宮私幼教育研究発表大会

大会テーマ：「質の高い幼児教育をめざして」

日時 平成29年 3月27日(月) 9:45～15:00 会場 仙台市民会館

第1部 開会行事

小野寺靖子研究委員長の進行のもと、鎌田文恵宮私幼副理事長の開会の挨拶に始まり、お人形社幼稚園園長横澤行夫先生の指揮により「幼稚園賛歌」を斉唱しました。



続いて村山十五宮私幼理事長が、「日頃、私立幼稚園のためにご尽力をいただいている県当局、県議会議員の皆様のご臨席を賜り本大会が約980名の参加を得て盛大に開催できたことを感謝申し上げます。さて、新制度が施行され、いろいろな問題を抱えながらの2年間でしたが、連合会としてもできる限りの支援を続けていきたいと思っております。幼稚園や認定こども園は幼児教育を行う私立としては何ら変わるところがありません。これらの園は10年先、20年先に世界に誇れるような子どもたちが育つように頑張っておりますので、ご来賓の皆様には今後とも私立幼稚園、こども園への振興にご尽力いただくようお願い申し上げます」と挨拶されました。



永年勤続教員表彰では77名の先生方が表彰され愛耕幼稚園の黒澤久美子先生が代表してお受け取りになり、謝辞を述べられました。

ご来賓として、村井嘉浩宮城県知事より、「東日本大震災から6年経過しました。この間、県では国内外からご支援をいただき、全力で復旧復興に取り組む一歩ずつ着実に歩んできております。県内でも多数の園が被災され、特に沿岸部では津波による園舎の流出や全壊など甚大な被害を受け、姉妹園や仮設の園舎で保育されてきましたが、皆様方の熱意とご尽力により新園舎が落成したり、園舎建設に着工した幼稚園もあり、復旧復興がなされております。



さて、子ども・子育て支援は、復興のためにも未来のためにも大変重要で、平成27年4月より施行された新制度も2年が経過しようとしております。本県における私立幼稚園からこの4月には幼保連携型が14園、幼稚園型が4園、施設型

16園、計34園となります。幼稚園から新制度に移行する際には県としましても、今後とも子育て支援課、市町村と連携しながら新制度がしっかりと定着していくよう支援していきます。先日、文科省から「幼稚園要領改訂案」が提出されたところです。幼児教育の資質が三つの柱によって健康な心と体、自立心など幼児期の終わりまでに育て欲しい10項目が示され、幼稚園教育と小学校教育が円滑な繋がりができるように明記されております。これからの幼稚園には学校教育の始まりとして一人一人の幼児が豊かな人生を切り拓くことができるよう、保護者と緊密な連携をとり、子どもたちの能力と資質を育むことが期待されているところです。この研修大会で大いに刺激を受け、同僚の教職員と共に幅広くお伝えいただき、幼児教育の発展につなげていただきたいと思います。引き続き、宮私幼と共にふるさと宮城のため取り組んで参りたいと思っております」とのご祝辞をいただき、中村今日子課長が代読されました。

中島源陽宮城県議会議員より、ご自身の幼少期を顧みながら、「先日信号待ちの所で若いお母さんが小さいお子さんを抱っこしながら一瞬でしたが、お互いに見るまなごしに信頼関係を読み取ることができました。ある幼稚園の節分で怖い鬼から逃れるために先生の背中に隠れ、そこに深い信頼関係があると感じました。怖いものの存在も必要ですが、信頼できる親や先生方がしっかりフォローしてくれると、幼児期の体験が成長の糧として備わっていくのだらうと思えました。県議会としても、未来の宮城を担う私立幼稚園の振興のために力を尽くしてまいります」とのご祝辞をいただきました。



渥美巖PTA会長代理として佐々木幸士副会長より、

「幼稚園集団の中で、友達や先生の影響を受けて成長していきます。新制度が施行されたとは言え、一人一人の子どもたちは社会にとってかけがえのない宝です。この大会を通して忙しい毎日の中一人で抱え込まないで幼児教育の質の向上を図っていただきたいと思います」とご祝辞をいただき、最後に、吉岡弘宗常任理事よりご来賓の紹介があり、第1部開会行事が終了しました。



第2部 分科会

第2部の分科会については、「平成28年度幼稚園教育研究紀要」に詳細に掲載されるので、簡単な紹介に留めます。

第1分科会（1階 大ホール）

「絵本や物語に親しみ豊かな心を育む」「教師の感性に気づく～演劇的手法を用いた感性の気づき方」



第2分科会（地下 小ホール）



「縦割り活動を通して幼児の主体性を育むためには」「優しさと思いやりの心もち、助け合う子どもを育てる」

第3分科会（地下 展示室）

「子どもの体育活動を通して、体力の向上と心身の成長を促すための教師の働きかけとは」「子どもの自己肯定感を高めるために」



昼休憩を利用したのポスター発表には、たくさんの「いいね」や疑問、質問の付箋が貼られ、たくさんの先生方が熱心に見入る姿が印象的でした。

第3部 講演会

演題 「新幼稚園教育要領について」

講師 文部科学省初等中等教育局

視学官 湯川 秀 樹 氏

本講演の詳しい内容は『平成28年度教育研究紀要』に掲載されますので、ここでは要旨を簡単に記します。



当日、資料をもとに堅い「教育要領」を中心に丁寧にお話し下さいました。特に長年大学で教鞭を執られたと言うことで、要所要所で「よろしいでしょうか」と確認されながら進めておられました。（以下、要旨）

はじめに一幼児教育の質確保（保証）・向上等

幼児教育の概念は、平成19年の教育基本法の改正で第11条に「幼児期の教育」という言葉が入り、一生のある発達時期を捉えて重要と記されており、それに近いのが幼児教育と思います。その組織体として幼稚園があり、140年の間に増加し、質の向上を図ってきました。私学として教育内容・方法は幅広いが、教育基本法・学校教育法・幼稚園教育要領の



枠組みの中にあります。能動的学びと遊び、つまりアクティブ・ラーニング、環境を通して行う幼児教育は先生が決定しなくてはならないので、質の向上のために養成と研修を充実させなければなりません。

幼稚園教育要領の世界〔概略〕

学校教育法に定める学校とは、幼稚園、小学校、中学校、高等学校などを指します。他に従来の児童福祉法・保育所指針に基づいた保育所があり、新制度により幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく認定こども園ができました。「幼児期の終わりまで育てて欲しい姿」として別々のものを整合性と類似性を持たせる方向にあります。幼児期の終わりは、小学校では始まりであり、中学、高校へと貫かれ、それぞれの接続期が大事になってきます。幼児教育要領は10年ごとに新たにまたは改訂されており、膨大な量ですが、それに従うことが義務化されております。現行の幼稚園教育要領の第3章を第1章総則に入れることによって小学校学習指導要領と同じ構造になるので、小学校でも理解されやすく、円滑な接続を図ることができるようになります。

次期学習指導要領等の方向性について

最終的に教育はどこに向かっていくのか？

我が国は少子化・高齢化、経済力低下、国際的地位低下が間近に迫っており、教育は目の前のことだけでなく、20年、30年先を見据えて行かなければなりません。教育は可能性と言われますが、今の常識が未来の常識かは分かりません。例えば、10年後になくなる職業の中には今最も身近な職業が多く含まれています。このような時代背景に教育が時代と共に変わり、学習指導要領も改訂されていくのです。

幼稚園教育要領等改訂の課題と方向について

従来もありましたが、実践段階で資質・能力の三つの柱、①生きて働く「知識・技能」、②未知の状況にも対応「思考力・判断力・表現力等」の育成、③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の涵養を、新しい教育要領ではより明確化するので先生方に作成実践して欲しい。幼児教育と小学校教育との接続の一層の強化が図られるように、上記の三つの柱を踏まえ、幼児期までに育てて欲しい5領域をもとに10項目に整理し、それに具体的な46項目が付随されます。次の年度には要録にこれらを意識しながら書いていただくように通知を出します。今後の課題として、幼稚園教育要領の見直し、資質・能力の整理を踏まえた教育内容の見直し、預かり保育と子育て支援の充実、幼保連携型こ



ども園として特に配慮すべき事項、必要な条件整備等について列記しました。

5 領域

- ・心身の健康に関する領域「健康」
- ・人とのかかわりに関する領域「人間関係」
- ・身近な環境とのかかわりに関する領域「環境」
- ・言葉の獲得に関する領域「言葉」
- ・感性と表現に関する領域「表現」

10項目

- ①健康な心と体、②自立心、③協同性、④道徳性・規範意識の芽生え、⑤社会生活との関わり、⑥思考力の芽生え、⑦自然との関わり・生命尊重、⑧数量・図形・文字等への関心・感覚、⑨言葉による伝え合い、⑩豊かな感性と表現

まとめにかえて

まとめとして、今回の新幼稚園教育要領は内容的に共通化していくものと、形態・型式として固まっていくものが出されています。最後にどこに行くかと言いますと最初に話した養成の問題、研修の問題が残されていて、次の課題となります。実は、文科省としてはそれについてすでに会議を開いており、養成校に対しては再課程認定になり、幼稚園教諭免許や保育士資格を取る場合何が必要か検討されています。



講演後、泉ヶ丘幼稚園・アルル保育園 庄子真由美園長先生の作詞作曲

「いっしょに歩こう 夢に向かって」を先生ご指導のもと合唱し、庄司昭博宮私幼理事の閉会の挨拶で終了しました。(小川せつ子・鎌田俊昭)

平成28年度 仙台市私立幼稚園教員研修大会 (宮私幼共催)

日時 平成29年1月6日(金) 14:20～16:00 会場 仙台市民会館大ホール

◆秋田喜代美先生の講演会

平成29年1月6日(金)、仙台市民会館で仙台市私立幼稚園連合会の教員研修大会が開催され、宮私幼では共催ということで、第二部の講演会から参加させていただきました。

◆第二部【講演】

東京大学大学院教育学研究科教授・同附属発達保育実践政策学センター長の秋田喜代美先生に「質の高い幼児教育と今後の動向」という演題で、ご講話をいただきました。

秋田先生はその中で、(1)質の高い教育とは(2)子どもたちの資質を伸ばす挑戦的活動と環境(3)組織としてリーダーシップを高めるの3点を軸に、概ね次のような話をされました。

①未来を生み出す、未来に必要なこととは25年後、30年後にも少子高齢化や自然災害発生など様々なことが起こる。そうした中、しなやかに持続可能性や創造性などを自分たちで創ることのできる人を育てることが必要になってくる。つまり社会情



動的スキル、目的達成・忍耐力・自己調整が大切になってくる。

②教育に求められるものとは

教師は「こんな子どもに育ててほしい」という願いやプロセスの質を大切にすることが求められる。そして幼稚園は、子ども一人一人が伸び伸びわくわく笑顔でいられる居心地のよい場所として、夢中になって活動し「学びに向かう力」や「頑張る力」をはぐくむことが大切である。そのためには教員同士が保育観・幼児教育観を共有できることが必要である。

③これから求められるリーダーシップとは

教育の質を高めるには、園の教育の質・文化・地域性・専門性などを踏まえ、園全体がチームとして新たな危機を一緒になって乗り越え、育ち合っていくことが大切である。これからのリーダーは、専門的な技術をマネジメントできることと、分散型・共同的リーダーシップが求められる。

最後に、人に学び、人と一緒に計画し、人々が持っているもので始め、人々が知っていることの上に築きなさい。リーダーが共に優れていれば、終わってみると人々は、口々にこう言う「自分達の力でやり遂げた」と孟子の言葉を述べられました。(関 澄子)

平成28年度 宮城県知事表彰

風間文静先生 おめでとうございます

期日：平成28年12月8日(木) 午後5時30分～ 会場：仙台ガーデンパレス

白石市ひかり幼稚園園長の風間文静先生は、ちよ子夫人とご一緒に参加者の拍手の中、入場されました。発起人を代表して佐藤宏郎宮私幼副理事長より風間先生の略歴を紹介され、村山十五宮私幼理事長から風間先生の多大なる功績を交えた祝辞をいただきました。花束贈呈後、



風間先生より「先生方のお陰でこのような表彰をいただくことができました。妻とは夫婦です

が、幼稚園では同志、仲間として共に歩んで来ることができて感謝しております」と奥様を称えられました。また「白石市の人口減は甚だしく少子化が進んでいる上に保育所に流れています。それでも、小さくても地域に望まれる園にするため次の世代にバトンタッチできたら良いと考えています。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしく願いたします」とご挨拶いただきました。お人形社幼稚園横澤行夫先生の乾杯の音頭により祝宴が開かれました。和やかな祝宴はあっという間に時間が経ち、鎌田文恵副理事長の閉会の挨拶、横澤先生音頭のもと十八番の「今日もおいしくお酒が飲めるのは…」を参加者一同輪になって歌いお開きとなりました。



宮城県知事・議会議長への陳情

去る1月11日、この時期恒例となりました村井嘉浩宮城県知事、中島源陽議会議長に「平成29年度私立幼稚園に対する県補助金等引き上げに関する要望書」を提出しました。その要旨は、「1. 北海道・東北6県で最下位である、宮城県私立幼稚園運営費補助金の順位を、国の財源措置と県費かさ上げにより、県財政力に相応しい順位に改善するよう要望いたします」「2. 私立幼稚園が教員の人材確保のための処遇改善を行った場合に係わる必要経費の一部を追加助成していただきたく、運営費補助制度の拡充を要望します」と陳情されました。



当日は宮私幼から村山十五理事長はじめ副理事長、常任理事が、宮私幼PTAから渥美巖会長はじめ副会長、役員の方々、17名の方々に参加していただきました。特に大和町^{めい}もみじが丘幼稚園年長の紙谷芽色ちゃんのかわいらしい応援には村井知事も中島議長も思わず微笑んでいました。

お二方共に昔から私立幼稚園との関わりがあり、特に中島議長は先日まで宮私幼PTA副会長をお務めいただいておりますので、善処される旨のお返事をいただきました。



南三陸町へ あさひ幼稚園を訪問しました!!

1月31日(火)に南三陸町にあるあさひ幼稚園に訪問取材させていただきました。あの東日本大震災で園舎が流失してしまい、その後小学校や公民館、仮園舎から新園舎完成までと5回も引っ越しを重ねながらもたくましく再建を果たしたあさひ幼稚園。新園舎は、オール木材の厳かで雄大な印象と温かみのある外観がマッチングした清々しい園舎でした。園の周囲は、復興の最中で建設中の新役場や新興住宅の宅地造成が急ピッチで進んでいました。日一日と街が形になっていく様子がとても印象的でした。

1. 東日本大震災について

平成23年3月11日発生の東日本大震災による津波で旧園舎が流失しました。在園児72名は、なんとか助かりましたが、その後他の地域に避難する者もいる中、平成23年9月に近隣の小学校の空き教室を借りて幼稚園を再開、10月には公民館に移転しました。そんな中、ユニセフからの支援でプロサッカーの長谷部誠選手による幼稚園再建のための寄付などもあり、平成24年7月には小島先生が住職を勤めるお寺の木材を使用して、仮園舎が建設されました。そして、昨年11月に新園舎が完成し、ようやく園児達の落ち着ける場所が出来上がりました。



園長 小島 孝尋 先生

2. 特色

あさひ幼稚園は、曹洞宗大雄寺の仏教教育を基本として創立され、以来おしゃか様の教えを基に、素直で明るい心と感謝の気持ちを養うことに力を注いでいます。特に人と人との触れ合いを通じて「している事と絶対にしてはいけない事」のけじめを知り、丈夫な体と自分で創る人間性の豊かな子どもを育成しています。



3. 特に力を入れている教育

東日本大震災から長い道のりを経て、再建してきたことから、その震災を教訓に地震や津波を想定した防災教育は、日常保育の一環として繰り返し行っています。また、創立以来行っている坐禅会やお茶会は、日本の文化に触れ親しむことで、幼児の心と身体を整える効果を持って

います。ちょうど、取材に訪れた日も年長組の坐禅会の日でしたので、見学させていただきました。子ども達は、20分間坐禅の型を崩さず、集中し、静寂の中、精神統一をしているようでした。



4. 保育時間

平日 午前9時～午後2時30分

3学期制 ※ 夏休み、冬休み、春休み有り

5. 預かり保育

午後2時30分から午後6時まで

6. 給食

給食はなく、完全弁当制です。

7. バス送迎

現在1台のバスで園児送迎をおこなっています。

8. 今後の予定

平成29年度より子ども・子育て支援新制度の「施設給付型幼稚園」に移行します。震災から6年経ち、宅地開発も着実に進む中、3月3日には地元「さんさん商店街」がオープンし、街に賑わいを戻そうと住民が一丸となっています。あさひ幼稚園では、そんな地域住民の世代を超えた交流(例えば桜のお花見会やお茶会など)を支援するコミュニティセンターを目指しています。



(高橋 潤・鎌田俊昭)